

ソノ ビヨ リひ

自らを由とする
ひとたちへ贈る
極私的な旅の記

目次

ソノひびヨリ
2026年 第二一号 <初夏>

発行元
たびたびまたたびプロジェクト
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目18-27
Tel.06-6351-3474 Fax.06-6351-9364
発行日 2021年1月5日(季刊)

企画 たびたびまたたびプロジェクト編集委員会
制作 株式会社アートグローブバルファン

WEB <https://sonohibiyori.net/>
<https://www.instagram.com/sonohibiyori>
<https://twitter.com/sonohibiyori>



ソノひびヨリ 大阪府大阪市 『都会にあつた渡し船、すべて渡ってみた!』
昭和カラタタノスタルジィ『家のしやまげモノ』
フチモフ動物園訪問『またたびのく』 天王寺動物園『8年ぶりにマレーシアから象がやってきた!』
ソノひびヨリ 奈良県橿原市『祝・世界遺産認定 日本建国の原点の地、奈良県橿原市へ』
『空して候・寄つて候』 天皇御慶賀の旅 外伝 鹿太子編
『さし着・いちごのうひとな』 一五二献目から一五九献目まで

対岸の「鶴町乗り場」まで約七五m、驚くほど近い！ 乗船時間は一分程・・・「あつ」と言う間に船旅終了です（笑）。昭和二〇年代後半から三〇年代にかけて、川輻が挟くことを利用して対岸まで船を運ね、その上に板を敷き人や自転車がその上を渡つたらしい。まるで「因幡の白兔」のようです。



工場が建ち並ぶ木津川運河を渡す、船町渡船場



大阪市住之江区と大正区を繋ぐ木津川渡船場と新木津川大橋

第四四話 大阪府大阪市
『都会にあった渡し船、すべて渡ってみた！』

び ン
ヨ ノ
リ ひ

*I tried crossing every single
ferry in the city!*

2025
Oct. 12・19 day

大阪市住之江区と大正区を繋ぐ「木津川渡船場」

第四話 大阪府大阪市
都云にあつた渡し船、すべて渡つてみた！

大阪市内に「渡し船」がある事を知ったのが、約四〇年前の昭和後期だった。しかし、大正区に住む友達の家に通う時、乗船したことを覚えてます。その「渡し船」が現代まで、まだ残っている事をネットニュースで知りました！

驚くあまり「なぜ？」今まで残っていたのか調べてみると、このエリアには河川や運河沿いに工場が多くあり、資材の運搬を海上交通で担っているようです。すなわち、大型の貨物船が河川を通行するには橋桁を高くして、航行の邪魔にならない様にするしかありません。橋桁を高くすれば歩行者（橋を渡るため）は、まず上まで昇らなくちゃなりませんね・・・。「新木津川大橋」で例えるならマシシヨンの「階まで昇ことになります、この高さでは歩行者・自転車での日常利用に不便なので「渡し船」が現在まで運行されているようです。

そして、なんといつても嬉しいのが、全ての航路が無料で乗れるのです!!! 大盤振る舞いですね!

と云うことで乗船の旅に向かいました。一度に八つの渡し船乗船には、時間的にも無理がありそうなので二日（二回訪問）に分けることにしました。一回目は五つの渡し船に乗船して、久しぶりの大正区なので友達に会い、沖縄料理を楽しむにしましょう（笑）。大阪メトロ・四つ橋線「北加賀屋」下車、そこから渡船場まで徒歩で「南港通り」を西へと進みます、「敷津運河」を超えて右折（北へ）して行き止まりまで進めば「木津川渡船場」に到着。駅から約二キロ、徒歩時間が約三〇分です。

「木津川渡船場」は住之江区平林北二丁目と大正区船町一丁目間、岸壁間・約三三八mで乗船時間・約六分三〇秒で結んでいます。川幅がそこそこ広く、乗船中の眺めは中々のものです！ 川の中央部から見上げる高さ四六mの「新木津川大橋」は庄巻です、普通では見られない眺めが船旅の醍醐味でもありますね。

この「本津川渡船場」の歴史で驚いたのは、昭和三〇年に「カーフェリー（二三四トン）」が運航されていた事です！ 昭和四八年上流部に「千本松大橋」が開通したことで翌年には「カーフェリー」

珍景「メガネ橋」よりも、人気の「千本松航路」！？



珍景・メガネ橋よりも、人気の千本松渡船場の航路

次に向かうのは大阪で言う「メガネ橋」で有名な「千本松渡船場」の下にある「千本松渡船場」です。「船町渡船場」から東へ約二キロ、二分ほどの歩行時間で到着です。大正区南恩加島一丁目と西三〇mの航路で、両乗り場の横には橋の両端部が「階式螺旋状坂路（即ち七二〇度ループ）」となっているループ形状が間近で見えます！面白い景観なのだけれど利用者の気持ちになれば、高さ三六m（マンションなら一二階の高さに相当）、誰も昇って渡ろうなんて気になりませんよね。そのためか「千本松渡船場」の利用者は、一日平均で千人弱もいるのです、八つの渡し船で一番の人気航路です。

利根丸、一日要約7千人送。平日のお客は4倍もあります。

		東京										大田										大田										大田																																																																					
		東京										大田										大田										大田																																																																					
東京	大田	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

利用者、一日平均で千人強。平日のお昼に4便もあります。

歴史は江戸時代、いにしえの？「落合下渡船場」

「千本松渡船場」西成区南津守二丁目から木津川に沿って上流へ、二キロほど歩けば「落合下渡船場」西成区津守側の乗り場があります。対岸の大正区平尾乗り場までの距離は一三八m、「船町渡船場」ほどではないけど、こも距離が近い！

ただ、この渡しは歴史は古く大保二〇年（一八三九年）江戸時代から運航されていたことが文獻に残っているそうです。現在でも一日平均四〇〇人弱に利用されています。ちなみに、一番近い橋で三



停泊中のみどり丸 落合下渡船場



歴史は江戸時代、いにしえの落合下渡船場



仕事帰り、買い物帰り、学校帰りの利用者



木津川渡船場（住之江区側）の入口



乗船時間・約二分三〇秒で大正区

「木津川渡船場」大正側乗り場すぐには、「新木津川大橋」のループ状スロープがあります。これを間近でみて右折です。真正面には中山製鉄所があり、道なりに（左折）約二〇〇mで「船町渡船場」が運航している「木津川運河」があります。ここには運河を渡す「大船橋」が架かっているんですが、「船町渡船場」からここまで一キロ弱です・・・、日常利用にこの橋まで迂回するのは面倒ですよね。実際に歩いたからこそよく分かりますね。

「大船橋」を渡り、交差点を左折「大正通り」に入り、そのまま直進一キロ弱。「鶴町二丁目」の交差点（この近くに大正側の船町渡船場があります）、ここを右折八〇〇m程でまた右折すれば、目的の「千歳渡船場」に到着です。ここまで距離が約三キロ半で歩行時間・約五〇分でした、まあまあな迂回でしたね（苦笑）。

一度無くなった橋が復活、それでも残った「千歳渡船場」

「千歳渡船場」は、大正区鶴町四丁目と大正区北恩加島二丁目の岸壁間三七一m間を運航していて、一日平均五〇〇人弱が利用しています。この千歳渡し船の始まりは、一九五七年（昭和三十三年）に「千歳運河」に架かっていた「千歳橋（旧）」が撤去さ、その代わりとして渡船運行が始まりました。その撤去した「千歳橋（旧）」には、大阪市電も走っていた主要道だったそうです。思い切ったことをしますね。

その後、二〇〇三年（平成一五年）新しい「千歳橋」が完成、それでも渡船は現在継続運航されています。当然、地域住民にとって便利だからでしょうね。

平成に完成した「千歳橋」は、「トラス橋（三角形に組んだ鋼材の骨組み）」と「アーチ橋」のハイブリッド橋です、海面からの高さが二八mで鮮やかなブルーが美しい橋です。

三分弱の航路、船窓からの風景は見応え充分です！ 西側（大阪湾）を見れば、二つの橋が！ 手前が「なみはや大橋」、その奥の赤

〇分もかかる「メガネ橋」なので、そりゃ渡し船を利用しますよね。しばらくすると対岸から「ちどり丸」と記された船がやってきました、この辺りは四月下旬になると「千島」じゃなくて「ユリカモメ」が数回羽飛来するそうです。大正区平尾乗り場には、野島よけとして設置されているリアルな「フクロウ像」がありましたよ（正面から撮影するのを忘れてしまった・・・涙）。

本日の最後の航路に乗るため、再度、乗船して西成区側へ戻ります。いわゆる、「行って・来い」ですね（笑）、私の都合ですけど。

本日最後の「落合上渡船場」から船に乗り、向かうは大正区の酒場へ

「落合下渡船場」西成区側に戻り、さらに木津川上流方向へ約八〇〇m一〇分ほど歩けば「落合上渡船場」に到着します。ただ、この標識が分かりずらく見落としそうになりました！ 渡船場入口の表示は無く、信号機の交差点名表示板で確認をするしかありません。ちよつと不親切です、地図などをちゃんと見て素通りに注意。この「落合上渡船場」は、西成区北津守四丁目と大正区千島二丁目を繋ぐ、岸壁間二〇〇mの航路です。乗り場からは国内で珍しい



1日平均利用者は500人弱の落合上渡船場

い橋が「阪神高速湾岸線」の「港大橋」です。川の奥に対象物があるので撮影ポイントとしておすすめですよ。



岸壁間三七一m間を運航している千歳渡船場



トラス橋+アーチ橋のハイブリッド「千歳橋」



の便の利用者は六名

目を繋ぐ、岸壁間一〇〇mの航路です。乗り場からは国内で珍しい形をした「木津川水門」が見えます、台風などの高潮をせき止めるための構造物ですね。アーチ型の形状がとても美しいです、この他に「安治川・尻無川」の水門があり、その三つを「三大水門」と呼ばれているそうです。

この辺りの歴史といえは、江戸時代の宝暦二三年（一七六三年）に新田開発をされ、その後、明治以降も鉄工所や造船所などの工場が立ち並びました。また、関西随一の木材市場を支えた「大正運河」があり、現在は埋立てられ「千島公園」になっています。今日の最終目的地が、「千島公園」近くにある大正区で有名な居酒屋「正起屋」さんです。本日の旅はここまで、次回は残りの三つの渡し船に乗船します！ どうでしたか、大阪市内観光に組み入れては如何でしょうか？ なかなかの珍道中になりますよ！ なんて言っちゃって無料がいいですよ。



千島公園の近くにある、大正区で有名な居酒屋正起屋



ナーベラーチンブルヘチマの沖縄料理

第二回目（二日目）途中、目的の「千歳渡船場」まで歩いてみたけど、船を使うのが正解と気づいた・・・。

大阪市内に八つ残る「渡し船」、全制覇旅の二回目（二日目）です。旅の始まりは前回と同じく、大阪メトロ・四つ橋線「北加賀屋」から徒歩で「木津川渡船場」に向かいます。二度目なので道も迷わずなれたものです、すんなり定刻の前に着いたので今日は待合室でのんびりと渡船を待ちました。二〇分ほど待てば、定刻通り渡船が到着、本日も良い天気です「新木津川大橋」のアーチが映えますね！ 大正側に到着、本日の目的「千歳渡船場」へと向かいます！ 本来なら「船町渡船場」を利用するのが良いのだけれど、前回に乗船したので徒歩で向かうことにしました、大正区の町並みも見てみたので。

子供たちの賑やかな声で感じる、生活必須航路「甚兵衛渡船場」

北恩加島二丁目から次に向かうのは、一キロ半（歩行時間・約二〇分）北方向にある「甚兵衛渡船場」です。先ほどの工場地帯の景観が一転、緑地公園がある住宅街に様変わりです。大正通りを一キロほど進んで左折、直進すれば「尻無川」の河口部分に到着。佐川急便の営業所の向かいに「甚兵衛渡船場」乗り場がありました。この「甚兵衛渡船場」は、大正区泉尾七丁目から港区堀江二丁目までの「尻無川」岸壁間九四mを結ぶ航路です。利用者数が多く、一日平均で約千人も利用者がいます。住宅が多く住民の生活の足として利用されているようです。私が乗船した時も、若いお母さんたちが子供を連れて船に乗って来ましたが、航行中の船内は賑やかな保育園のようでした（笑）。対岸までの渡し時間は一分ほどで到着。「甚兵衛」の名の由来は、その昔、甚兵衛さんという方がこの「渡し」をやっていたそうなのです。そこからこの「甚兵衛渡船場」の名が残ったようです。その時代の「尻無川」の堤は緑葉の名所で、渡し乗り場にあった茶店「蛤小屋」と呼ばれて、蛤を賞味する人が絶えなかったと伝わっています。今も昔も賑やかな渡し場だったんですね。



朝のラッシュ時には「随時運航」の甚兵衛渡船場

渡船の最後には、大阪観光スポットをも繋ぐ「天保山渡船場」

賑やかな渡船時間を過ごし、港区側に到着しました、残すは本日最後の渡船「天保山渡船場」へ向かいます。「長兵衛渡船場」港区側を降りて目の前の「福崎住吉神社通り」を北西に向かい約八五〇m進むと、国道一七二号線にぶつかります、ここを左折してほぼ直進で二キロ半ほど進めば到着です。徒歩時間は約五〇分、交通量も多く歩いていてもあまり楽しくないです、国道一七二号線合流ポイント近くに大阪メトロ中央線「朝潮橋」があるので、次の駅「大阪港」まで乗車がおすすめかも。

渡船場のあるこの辺りは、大阪ウォーターフロントの観光エリアで華やかな場所です。そのエリアに「日本一低い山」で知られる「天保山」がそびえています(笑)、そのすぐ近くに「天保山渡船場」があります。この渡船は「安治川」を挟んで「港区築港三丁目(天保山)」から「此花区桜島三丁目」を結ぶ岸壁間四〇〇メートル長い航路です。航路の船姿も良く、天保山側には「海遊館」や「天保山大観覧車」を海から眺めることができ、風景の良いアクセントになる撮影スポットですね。それと、西向きに河口が広がり人工島などの障害物が少ないので、大阪湾を眺めることができなかなかの絶景ですよ！！

このようにキャストさんが多く利用している姿を見れば、この渡し船も有効的に活用されているようですね。渡船の歴史も古く、明治後期に始まり一度は航路を変更したようですが、昭和元年には現在の航路に戻りました。最盛期の昭和四二年には、一日平均千七百人もの利用者がいたようです！現在は一日約八五〇人の利用者です、最盛期の約半分ですが大健闘の利用者数ですよ！

次から次にやってくる外国の方々に驚きつつも、乗り場でゆったりと時間を過ごしました。なぜかと言えば、先ほどの船窓風景があまりにも良かったので、夕暮れ時間に合わせ天保山側に戻りたいと思います、乗り場で時間調整だったので。



天保山側は阪神高速湾岸線の真下から出港です。



天保山側の乗り場事務所



桜島側の乗り場



一便、天保山側からやって来ました。

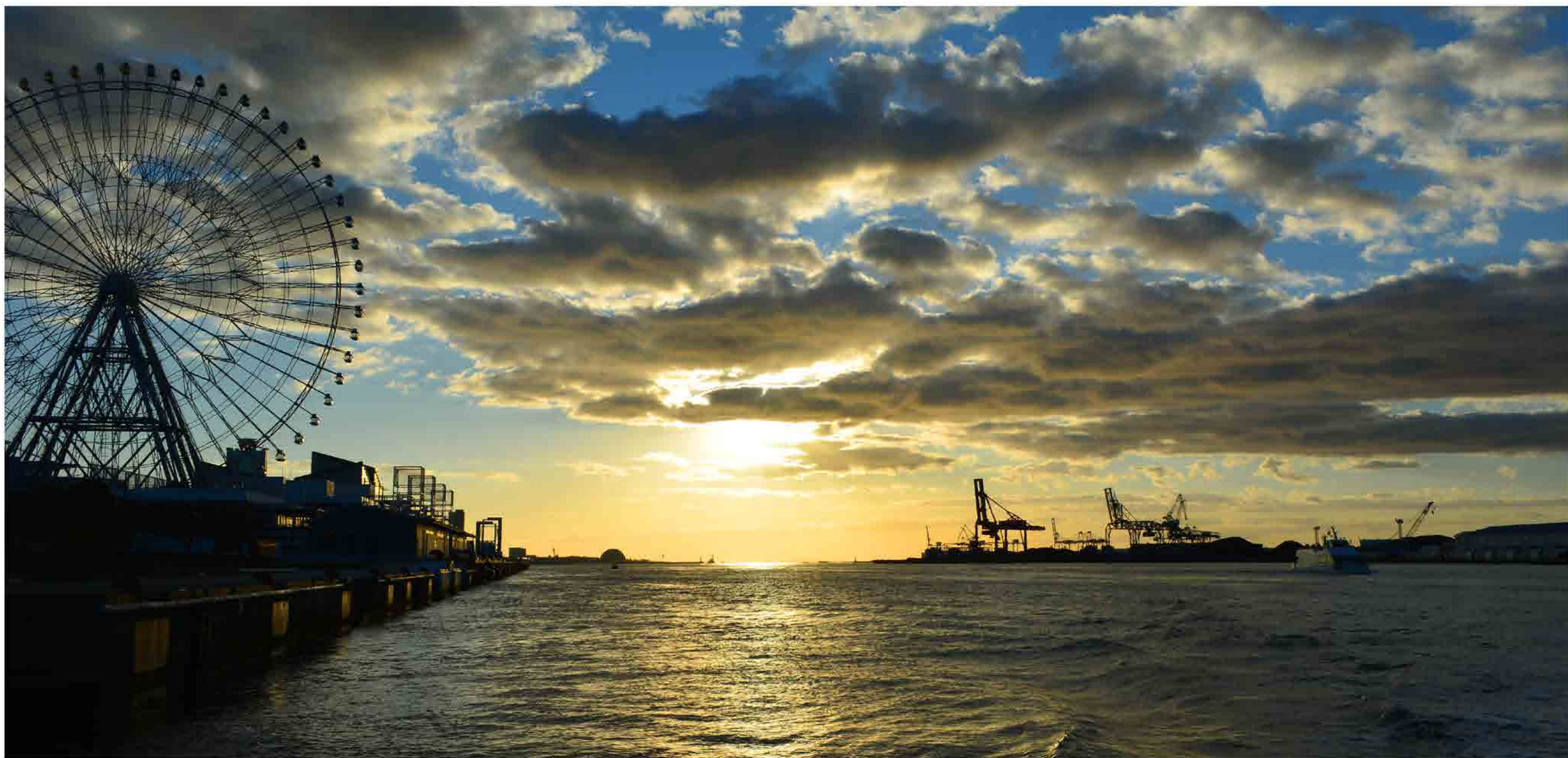


大阪市8つの渡し船マップ

空の色と太陽の角度を気にして乗り場で待つのも、なんだか大阪市内にいる感じがしません、とても旅情感のある時間を過ごせましたよ！待つこと一時間ほど、西の空に怪しげな雲が流れ込んできた・・・。そろそろ潮時だ、空の色も黄金色に染まり良い頃合いなので、本日最後の渡船へと乗り込みました。

いかがでしたか？大阪市内に現存する渡し船、意外にも日常の風景の中に溶け混んでいるのに異空間な感じが、とても新鮮で驚き

もありました。その昔、大阪が「水の都」とも謳われていた片鱗が少し分かったような気がします。この「渡し船」は生活インフラでもあり、今後の大阪ルート観光（珍スポット）の象徴にもなりそうな観光資源です！今後も永続的に運行をして欲しいですね、決して産業遺産などにはならずね。とにかく一度、乗船してみてください！



美しい夕焼けの大阪湾がこの旅のクライマックスでした。

駄菓子屋玩具・スポーツキーホルダー



ショートブーツの
スケート靴

ロングブーツのスケート靴。
両方とも良くできている

テニスラケット編

駄菓子屋のくじ引きで当たりをねらった結果、
「エース」が出てきてしまった・・・

「駄菓子屋のくじ引き・キーホルダー」第三弾
「まだあった！」スポーツアイテムのキーホル
ダーです（苦笑）。

あったのは「テニスラケット」のキーホ
ルダー、ありがたいことに（苦笑）二種類も
出てきました。一つは精巧に作られていて、も
う一つの方は適当に造形した感じの対照的な出来栄え
のキーホルダーです。精巧に作られている方は、「駄菓
子屋のくじ引き・キーホルダー」なのか判断が付きません・・・
。ネット（網）部分はちゃんと上下に編み込まれていて、おま
けにボールも付いている。この出来栄えの良さなら、スポーツバック
からラケット（本物の）のノベルティーかもしれない。でも、覚えがない。
当然、私はテニスをやってない・・・。

そして、もう一方のちゃっちゃい造形のラケットは、間違いなく「駄菓子屋
のくじ引き」で引いたものです。もう、悲しくなるくらい手抜きな造形だし、
塗装もされていない代物。

このテニスラケットのキーホルダーは1973年（昭和48年）より「週刊マーガ
レット（集英社）」で連載された、超人気のスポーツ少女漫画「エースをねらえ！
（作・山本鈴美香）」に駄菓子屋玩具会社が便乗したものだと思う。当時、男子の僕
にはまったく興味がなかったキーホルダーだ・・・。



右・同じテニスのラケットの
キーホルダーか！？
と思うくらいにちゃっちゃい・・・

左・ボールがネットに
金具で止めている、
なかなかの手間ですね（笑）。
それにネットの再現が
細やかに作られています。

フィギュアスケート編

『和製ジャネット・リン』と呼ばれた
フィギュアスケーターがいた時代のキーホルダー

「駄菓子屋のくじ引き・キーホルダー」第二弾です（苦笑）。それも、2月に
開催されて「ミラノ・コルティナ冬季五輪」にちなんでスポーツアイテムのキー
ホルダー「フィギュアスケートの靴」です。

何で「フィギュアスケート」なのか？ これを見た時「ピン」と来ました！
1970年代（昭和50年）ごろかな、『絵美スマイル』ことフィギュアスケーターの
「渡部絵美」さんが一世を風靡していたんですよ（真央ちゃんみたいにです）。
思春期をアメリカで過ごした絵美ちゃんの表現力が凄く、演技に失敗しても笑顔
で！ その笑顔にみんなメロメロになったのです。残念ながら1980年開催の「
レークプラシッドオリンピック」ではお立ち台に上がれなかったけど、記憶に残
るフィギュアスケーターですね。

そんなブームに便乗し子供を騙し討ちにする駄菓子屋玩具会社（笑）！ いえ
いえ、騙される私がバカなだけでした・・・。でも、これ、まああの造形です。



昭和ガラクタノスタルジー

家のじゃまけモノ

天袋、家の掃除をしてみれば 出るは出るは、あの日のお宝？

誰が行ったか知らないが 旅の土産のキーホルダー

叱られて、取り上げられたプラモデル

勉強用、買って使わずヒーローノート

誰が聴いたかビックスター昭和歌謡のSP盤

娯楽といえばプロ野球 知らぬ球団、バッヂをつけて草野球

あの頃、捨てずに残したお宝も 今じゃ「家のじゃまけモノ」



記念硬貨編 オリンピック



東京オリンピック開催記念千円硬貨



東京オリンピック開催記念百円硬貨



札幌冬季オリンピック開催記念百円硬貨



銀の含有率が高い記念硬貨、その評価額は？

「ミラノ・コルティナ冬季五輪」にちなんでオリンピックのじゃまけモノです。それも、また発見した・・・使いづらい記念硬
貨です、もちろん使えるので「じゃまけ」じゃないんだけど。出てきたのは1964年（昭和39年）の東京オリンピック開催記念硬貨
「1000円」と「100円」、それに1972年（昭和47年）開催した札幌冬季オリンピック開催記念硬貨「100円」の三種類です。

使う気は元々ないけど、現在にどれだけの価値があるのか気になって調べてみると・・・。東京オリンピックの1000円硬貨は
1500円前後での買取で、100円硬貨が数百円とアバウトな回答だった。では、札幌冬季オリンピック100円硬貨といえば、やはり
数百円だった。あまり価値がないようですね、それもそのはず、この時代は高度成長期で人口も急増したのは、たくさん出回った
んでしょうね。もう少し価値があっても良いのになあ・・・。



イギリスの童話が原案なのに、なぜか舞台はメキシコ？



「立山黒部 民話双六」、広げれば新聞より少し小さめのサイズ。



部屋に戻った私は、オジさん軍団に参加していない生真面目そうな大学生のお兄さんに声をかけ双六を見せた。お兄さんも暇を持て余しているようで、「やろうか」と言ってくれたのです（嬉しかったと思います・笑）。ただサイコロを買い忘れたことに気付いたのです、「ならば、これを使おう」と鉛筆をカバンから出して六面にそれぞれ一から六の穴を付け出したのです。さすがは大学生と感心したことを覚えていますね（笑）。

しばらく二人で楽しんでいると、花札に飽きたのかお酒の匂いを漂わせオジさんの一人が、また一人と双六によってくるのです・・・。いつの間にか大半のオジさんが双六に参加している有様で、「何かを賭けよう！」などぬかしだした（怒）。そうなると子供の私は参加できなくなり、双六をオジさん軍団に強奪されたのです・・・。そんな苦い思い出のある双六、やりたいけど一人ではできない、やはり「家のじゃまけモノ」なのです。余談になりますが、最終日になんとか立山登山に成功しました。

テレビ人形劇 ソノシート編

ブーフーウー（三匹の子豚）

今では考えられないNHKと朝日が手を組み発売したブーフーウーのソノシート。今回の「ソノシート」は、またレアなモノが出てきてしまった・・・。昭和三五年（1960年）から昭和四二年（1967年）まで、日本放送協会で放映されていた人形劇「ブーフーウー」です。この人形劇「ブーフーウー」は、現在も人気番組『おかあさんといっしょ』内で初代めいぐるみ人形劇として放映されていました。イギリス童話「三匹の子豚」の後日談として物語がスタートしました、個性が違う子豚た三兄弟といじわるなおオカミが繰り広げるコメディ風物語でした。当時大ヒットとなったテレビ人形劇だったんです。

声の出演は豪華で「長男のブー」に大山のぶ代（故人）さん、「次男のフー」にはパーマン1号の声の三輪勝恵（故人）さん、そして「三男ウー」が黒柳徹子さんなのです。そして変わりどころと言えば失礼ですね、おオカミの声を演じられていた永山一夫（故人）さんは、その後、北朝鮮の帰還事業で朝鮮半島へと帰ったニュース原稿をウー役の黒柳さんが読んだそうです。その時の記事名は「ブーフーウーのおおかみさん北朝鮮に帰る」だったそうです。でも、今では考えられないですよ。NHKと朝日（グループ）が手を組んで、このソノシートを発売するなんて！ いろいろと対立関係が続いている二社が。

観光土産「立山黒部 民話双六」

黒部立山に行った時の自分で買ったお土産？「民話双六」

「家のじゃまけモノ」は自分で買った「紙物」のお土産です。ゲームはゲームでもSwitchでもなくプレステでもない、ボードゲームですらない、一枚の紙に印刷された今では考えもつかないゲーム「双六」です。なぜ？この「双六」を買ったのか思い出せば、15歳の時に知り合いのオジさんが所属していた登山愛好会で、人生初の三千メートル越えの立山登山に連れて行ってもらった時のことです。現地に着き「さあ、登るぞ！」と意気込んでいたら、みるみる空に黒い雲・・・おまけに稲光が走る始末。そんな天候に慣れているオジさんたちは、旅館に戻りお酒を片手に花札に興じた・・・。この登山パーティーに少年は私一人、年の一番近い人で大学生のお兄さんだった。

次の日も悪天候、この日も登山を諦めるしかなかった。オジさん軍団は昨日と同じくお酒と花札を楽しそうに始め出した。私はやる事もなく、近くの土産を置いている萬屋さんで暇つぶしをしていた、その時に見つけたのがこの「民話双六」。値段はハッキリと覚えてないけど、少年が買える値段だから二・三百円くらいだと思う。オジさん軍団が酒と花札なら、ボクは双六だ！とでも思い買ったのでしょうか（笑）。



昭和28年10月2日発行の「スポーツニッポン」、ロゴ下の定価は一部五円

昭和28年 スポーツ新聞「スポーツニッポン」

謎の我が家に大切に保管されていた、昭和28年10月2日のスポーツ新聞！？

「家のじゃまけモノ」が詰まった行李のなかに見落としを発見。それは、茶封筒に入れられていた（大切に保管？）昭和28年10月2日のスポーツ新聞「スポーツニッポン」だった。このスポーツ新聞の記事を読んでいて、いくつかの疑問が浮上してきた！ まず最初に、発刊年度を見れば「昭和28年」（ちなみに昭和27年、日本は連合国占領軍より主権回復した年）、ラジオ欄を確認すれば関西にある放送局の番組・・・。と言うのも、この時代に我が家（私は生まれていませんが）は関西には住んでいない。なのに関西のスポーツ新聞が・・・。

次に考えたのは、アマチュアスポーツ記事に親類・親戚の名前が載っているんじゃないかと？ もう一度、慎重に記事を読み進めるが、思い当たる名前は出てこない。ただ、関西旅行の途中で購入しただけの新聞なのだろうか。いや違うはずだ、大切に保管されているのだから・・・。しかし、疑問が疑問を呼ぶスポーツ新聞なのだけど、読むと意外に楽しかった。

昭和28年10月2日発行の「スポーツニッポン」一面は、プロ野球パシフィックリーグの記事だ！ 試合が掲載されている7チームは、どこもその名前では残っていない。驚いたのが6チームじゃなく7チームあったという事実！

ページを捲った二面には、なんとメジャーリーグ・ワールドシリーズの記事が！ 現在の日本人選手の活躍記事なら理解できるのだけれど、この時代に大きく取り上げられているなんて！ これは前年まで国家主権がなく、アメリカに統治されていた名残か？ まだ、駐屯しているアメリカ軍への付度なのだろうか・・・。

そして三面には、大相撲秋場所の記事。その横には、ボクシング世界フライ級選手権の試合延期の告知記事が掲載されている、なぜかプロレスは載っていなかった。

最終ページの四面、スポーツ新聞お得意のお色気欄はないけど、芸能欄がありました。俳優「坂東妻三郎」の長男（田村正和のお兄さん）「田村高廣」さんの芸能デビュー記事が！ 確か「田村高廣」さんは2006年（平成18年）にお亡くなりになられた、その方のデビュー記事が読めるなんて。

このスポーツ新聞による我が家の謎は、何一つ解けていないけど昭和28年のスポーツ新聞を熟読でき面白かった。



メジャーリーグ・ワールドシリーズの対戦チームはジャースとヤンキース。



第四〇代横綱「東富士」六度目の優勝！ 後に東富士はプロレスラーに転向するんですよ。



銀幕スターの二世俳優デビュー記事が大きく掲載、今ならこんなに大きく取り上げるのかな？

昭和がラウタノスタレジー

家のじゃまけモノ



バリーグの順位は1位から「南海・大映・阪急・毎日・西鉄・東映・近鉄」。セリーグは「読売・名古屋・阪神・広島・大洋・国鉄」と続く。



第25回

「8年ぶりにマレーシアから象がやってきた！」 大阪市・天王寺動物園

住 所 大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-108

開園時刻 午前9時30分～午後5時（入園は午後4時まで） 5・9月の土・日・祝は午後6時まで（入園は午後5時まで）

敷地面積 11ヘクタール 休園日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日が休園日）12月29～31日、1月1日

入園料 大人 800円 小・中学生 200円 駐車料 有料

8年間の願いが叶った！

大・中・小のゾウさん3頭がマレーシアから来てくれた！

2018年に天王寺動物園からゾウが居なくなって約8年・・・、そのゾウがなんと三頭も！ 3月11日、マレーシアから遥々やって来てくれたのです。そして約1ヶ月後の4月21日より公開が始まりました。みんなゾウを待っていたのか、平日でも象舎の前には多くの人だかりができています。この象舎の名前が「エレファント・ヴィレッジ」と言って、この三頭に来てもらうため新設した施設なのです。

施設を新設するのも大変だと思いますが、実際にゾウを受け入れるために大変苦労されたようです。近年、希少動物（アジアゾウは絶滅危惧種）の輸入は「ワシントン条約」で商業目的の取引は原則禁止されていて、購入も難しくなっています（価格も高騰！）。それに加え、世界的に「動物福祉」の意識が高まっているので、それぞれの生態にあった飼育条件を動物園側に厳しく求められるようになっていきます（これって、大切なことだと思います！）。

そのため、天王寺動物園はマレーシア政府と話し合い、2022年にマレ

ーシアの動物園と「保護プログラム」を締結。内容は、他の動物園や大学と連携して「繁殖・生態研究」に取り組むことで「貸与」という形で像を迎え入れたのです。ご苦労様でした！！

新施設の「エレファント・ヴィレッジ」のベースは平成15年に開設された「アジアの熱帯雨林ゾーン」を使用したみたいだけど、完全に新しい施設になっています。その総工費、なんと45億円！ 飼育スペース、約6600平方メートルで「日本最大級」だそうです！ 日本が誇るゾウの飼育スペースになっていると言う事ですね。また、脚への負担を減らすため、フィールドは全て自然に近い砂床にしている、本当に「動物福祉」を考えて自然に近い環境を提供しているんですね。

天王寺動物園がゾウ来園に尽力したのは訳がある！？

天王寺動物園のゾウ展示の始まりは、1915年（大正4年）現在の「マイドームおおさか」がある場所に娯楽施設「府立大阪博物館」がありました。その施設内にサーカス出身のゾウがいて、松屋町筋を歩いて天王寺動物園

まで引っ越してきたんです。その時、沿道には大阪中から見物人が集まったという伝説があるそうです（笑）。

そして戦中には、ゾウ2頭が栄養不足などで死んでしまった悲しい出来事……。戦後の5年後、1950年には大阪の貿易商がタイで買い付けた子ゾウを寄贈してくれました。敗戦で荒廃した心を癒してくれただけでしょうね。そのゾウは「春子」と名付けられ、1日の入園者数が6万人！ あっという間に大人気になりました。その後に来園した「ユリ子」と共に、天王寺動物園を復興させたのです。「春子」は長寿で2014年まで私たちに癒しを与えてくれました。1970年の高度成長期「大阪万博」に合わせ、インドから記念として雌のアジアゾウが寄贈され、万博から1文字もらって「ラニー博子」と名付けられました。その「ラニー博子」も2018年、推定48歳で天国に召されました。このように天王寺動物園は時代時代の転換期に、必ずゾウが居てくれたんだと感じます。そんな思いがあってゾウ不在の状況を良しとはしなかったんでしょう。そして、2025年「関西万博」の次の年に、3頭のゾウがやってきたのです！

3頭「アモイ」「ダラ」「クラッ」の紹介です！

アモイ（Amoi 雌・推定年齢9歳）

「アモイ」はまだ幼い子供で、見ているととってもよく遊んでいます。一時としてじっ～としていません（笑）、ちょこまかちょこまかお姉さんゾウの後を追いかけてはフィールドを駆け巡っています。その動きが可愛くて、時間を忘れて見続けてしまいます。飼育員さんの話だと、いろんなものを体に振りかけるのが大好きな「アモイ」、餌の乾草をいつも頭や背中に乗せて走り回っているらしいです。この時もおでこに沢山の乾草を着けていました、お化粧のつもりなのかな（笑）。それに、好きな食べ物を見つくと、他の2頭より早くグットして、歩きながら食べるという「得意技」があるそうです。



ダラ（Dara 雌・推定年齢14歳）

「アモイ」より推定5歳年上のお姉さんの「ダラ」。この日、「ダラ」の行動を観察していると、ほぼ「アモイ」のお守りをしている様子ですね、ちょこまか動く「アモイ」をずっと見ていました。見分け方は3頭を比べて真ん中のサイズで、お尻に小さな傷があります、意外にお転婆さんなんじゃないかな。

これも飼育員さんの話ですが、場所を移動するときには、ちゃんと「アモイ」がついてきているかを確認したり、「アモイ」を先に行かせて後から注意深く行動をしているようです。見ていて立派なお姉さんぶりに驚かされるそうです。



クラッ（Kelat 雄・推定年齢20歳）

そして最後に一番大きくお兄さんの「クラッ」です。ほとんど、ひとりで居ましたね。雄のゾウはこの位の年頃になると単独で行動することが多いといわれていて、「エレファントハウス」には雄が単独で生活できるスペースが作られているそうです。でも、飼育員さんの話では「クラッ」はどうやらとても寂しがり屋のようで、「エレファントハウス」で3頭が一緒に寝ていたそうですよ（笑）。まだ、慣れなくて不安なのかもしれないですね。それと、ちょっとあわて者なのなのかも、というのも園にきた時には立派な象牙があったのですが……。それが、片方「ボキリ」と折れてしまったのです。片方だけではバランスが悪いとのことで、安全性を保つため片方も切り落としたそうです。また、伸びてくるから大丈夫ですよ「クラッ」！



これからよろしくね「アモイ」「ダラ」「クラッ」、そして長く長く天王寺動物園で仲良く暮らしてくださいね！ そして近い未来にはベビーが誕生なんてニュースを持っていますからね。



橿原神宮 内拝殿と畝傍山（特別参拝）



「神武天皇陵（畝傍山東北陵）」手水舎で身を清め参拝。広場の左端にあります。

駅より五〇〇mほど住宅街を抜ければ、拝所へ誘う参道入口に到着しました。真鯉が泳ぐ小川に架かる橋を渡り、玉砂利が敷かれた美しい参道、聴こえるのは玉砂利を踏む音と小鳥たちの囁き。たまに風が吹けば木立の葉が擦れ合う音、静寂を壊さぬよう静々と歩んでいきます。しばらくすると緩やかなカーブ、前方に御陵拝所の鳥居が見えてきます。

また、小さな小川に架かる橋を渡れば神域です。拝所前の玉砂利が敷き詰められた空間は広く、二・三〇〇人同時に参拝できそうですね。入ってすぐ左手に手水舎があり、身を清め参拝です。ここでは、私利私欲を捨て国家の安寧を祈るだけでした。

「神武天皇陵（畝傍山東北陵）」の形状は周円・約一〇〇m、高さ・約五五〇cm「八稜円形墳（円丘）」です。（詳しく知りたい方には、本誌長老・赤木翁が連載している「還暦前 写真家の『写して候』寄って候『天皇御陵踏破の旅』をご覧ください。」）

余談ですが、皇居には「皇極殿」と言って歴代天皇（皇族）が祀られている「宮中三殿（その一つ）」があります、そこで毎年四月三日に「神武天皇祭」が執り行われています。その時、この御陵に勅使が参向され幣帛を捧げます。また、天皇皇后両陛下、皇室の方々が「橿原神宮」に参拝されるときには、必ず先に「神武天皇陵（畝傍山東北陵）」をお参りするそうです。



近鉄橿原駅「畝傍御陵前」



住宅街の後は大和三山「畝傍山」

GW、五月五日「端午の節句」、どこへ行ってもオーバートリズムだらう……。どこに行くか？ そんな時、必ず頭に浮かぶのが「奈良」、その理由はいまだに分からない（笑）。なら（最低の駄洒落ですね……）、体が欲する通り古都・奈良に向かうことにしましょう！ と言えども奈良は広く観光地も多い、まず思いついたのが「飛鳥」、調べるとGWは人混みでこたえそうです……。次に「大和郡山」、あつ！ダメだ！ 絶賛放映中の歴史ドラマの舞台になっている、きつと全国から観光客が押しかけている（良い事だけど・苦笑）。さてはて悩んだ末に、日本国家の原点とも言える地「橿原」に向かうことにした。

今回のコースは「神武天皇陵（畝傍山東北陵）」から「橿原神宮」へ、そして「今井町」でランチと散策を楽しむ予定です。

少しゆつくり目の出発となり近鉄「畝傍御陵前」に到着したのは午前一〇時、降車客は私たち以外に誰もいない。GWなのに立派な駅舎前のロータリーにも、ひとつひとつひたひたに静寂に包まれている。駅より真っ直ぐに御陵へ向かう道すがら、静かな住宅街の奥に大和三山「畝傍山」が美しい緑の装い。こうして静かに歩くだけでも奈良・橿原で正解だったと思う、オーバートリズムどこ吹く風だ。

初代天皇・神武天皇御陵の静寂を破る不敬な者が現る！？

第四五話 奈良県橿原市

『祝・世界遺産認定 日本建国の原点の地、奈良県橿原市へ』

ソノ
ヨリ
び

To Koshikawa City,
the birthplace of the nation.

2026
May, 5 day

参拝を終え、晴々しい気分で御陵を後に深緑の参道を戻ることにしました。先ほど渡った橋を越え歩いていると、すぐ横（目線くらいの高さ）の木立中から静寂を破る鳥の羽音のような音が聞こえてくる（ビックリした！）。目を凝らして木立の隙間を覗いたら、いきなり「カー・カー！」と大きな声が。手の届きそうな高さの枝から一羽のガラスが鳴いている！ おお！これは「神武天皇東征」の伝説の「八咫鳥」、武連長久を告げる吉兆の知らせか。本日の旅に何か良いことが起こるかもしれません。ちなみに横にいる同行者は「鬼滅の刃のガラスみたい」（笑）と不敬なことを言っている・・・。

「八咫鳥」の導きは「榎原神宮特別参拝と文華殿特別公開」

「神武天皇陵（畝傍山東北陵）」から南に向かい約1km強・約一五分で「榎原神宮・第一鳥居」に到着です。御陵（参道入口）からすぐ近くに「北の鳥居」がありましたが、そこはスルーして表参道に向かいます（このコースがオススメ）。



荘巻の大きさの「榎原神宮 第一鳥居」

表参道入口の「第一鳥居」から三〇〇mほど参道真ん中付近に「神橋」「第二鳥居」、残り半分歩けば左手に「手水舎」、その向かいが境内の入り口「南神門」があります。この門をくぐれば神域に入ります、ここでもちゃんと手水で身を清めましょう。

ちなみに、鳥居に使用されている木材は、当時統治していた台湾のヒノキで造られています。現在は、修復のためにわざわざカナダからヒノキを取り寄せて使用しているようです。日本ってほぼ山間部なのに不思議ですよ？



「南手水舎」、奥に見えるのが「南神門」



「外拜殿」の全景

この「榎原神宮」の創建は新しく一八八九年（明治三年）、この起こりは民主の声から始まったのです。奈良の榎原は初代天皇「神武天皇」の「畝傍榎原宮」（今という皇居ですね）があったとされる地、すなわち日本建国の地ということですから。そんな榎原にどうか「神武天皇」の神社をお作りくださいと、民からの請願がありました。そのことをお知りになった「明治天皇」は深く感銘を受けられ、すぐさま明治政府によって創建が認可されたのです。

創建にあたって「明治天皇」は、新たに作られる神社の本殿に「京都御所内」の天照大神が祀られていた「賢所（国の重文）」、拝殿に新嘗祭が執り行われていた「神嘉殿」が下賜され移築されました。そんな起こりがあったとは知らなかったで心底驚きました、姿勢を正し心を込めて拝殿に向かいます。

拝殿内の拝所に進み参拝を終えると、同行者が「中に人がいるよ」と。よくよく見てみると、確かに一般人らしき人達が中にいる。後で知ることになるのだけれど、私たちが参拝したのが



外拜殿で参拝していると、中に一般の人がいる？

ここで神職の方と別れ、各自「宝物館」を見学すれば、一時半からスタートした「榎原神宮特別参拝と文華殿特別公開」ツアーは終わりました、感想としてはなかなか濃い内容でしたよ。機会があればご参加をお勧めします。さて、時間も一時過ぎ、もうお腹がペコペコです（笑）、予約している今井町のお店に移動しましょう。



「榎原神宮特別参拝と文華殿特別公開」参加で貰えた一式です

今井町の築百年越えの町家でランチ

「榎原神宮」を後にして、急いで近鉄榎原線「榎原神宮前」へ。なぜ？ 急いでいるかといえば、今井町で予約してある「農家のオーベルジュこもれび」さんに行くためです。本当は二時半の予約でしたが、「榎原神宮特別参拝」に急遽参加するため時間を変更していただきました。変更確認の電話をした時「大丈夫ですよ、ランチ営業は二時半までなので、それまでにご来店ください。」と親切丁寧に言ってくれました（感じの良い対応、ありがとう！）。そのおかげで特別参拝することができたのです、感謝ですね。だからこれ以上、遅れることはできないのです（汗）。

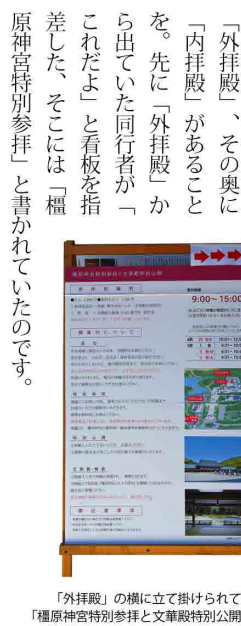
近鉄榎原線「榎原神宮前」駅に着いたのが一時半過ぎ・・・、電車で二駅隣の「八木西口」に二時前着、今井町の散策は後回しで一目散に「農家のオーベルジュこもれび」さん向かいました。

「農家のオーベルジュこもれび」さんは、「飛鳥川」近くの美観地区（重要伝統的建造物群保存地区）入口の北尊坊通りから徒歩五分ほどの距離、大工町筋の古民家が建ち並ぶ中、白い暖簾よく目立つお店が「農家のオーベルジュこもれび」さんです。どうにか迷わず、二時過ぎに無事到着です。

暖簾をくぐりと、足元には石畳が弾かれています、見上げれば大きく太い梁が百年の歴史を感じさせてくれる。小上がりを上がれば、リノベーションされたお部屋にテーブル席（二室）と中庭を眺められるお座敷席（一室）がありました。案内されたのがテーブル席、できればお座敷が良かったのだけれど、お昼の営業時間ギリギリだったので文句はありません（笑）！



駅近くの「飛鳥川」を渡れば美観地区の今井町エリアに入ります。



「外拜殿」の横に立て掛けられている「榎原神宮特別参拝と文華殿特別公開」の看板

「外拜殿」、その奥に「内拜殿」があることを。先に「外拜殿」から出ていた同行者が「これだよ」と看板を指差した、そこには「榎原神宮特別参拝」と書かれていたのです。

この「榎原神宮特別参拝」は、GWの前後（十日間ほど）と六月と二月に二回開催される希少な特別参拝です。初穂料は三千元（大人）、所要時間・約七〇分、なんと神職の方のガイド付き！その行程は、通常で入れない「内拜殿」で拝礼（御神前に最も近い場所です！）、そこで榎原神宮の由緒を神職の方から説明を受け、境内に建つ重要文化財「文華殿」を見学、宝物館見学（チケット付き）、その上お土産の古材を使った「特製・樹木布缶バッチ」まで頂けるのです。これは絶対に参加しなきゃいけない！先ほどの「八咫鳥」はこのことを告げにきてくれたんだ（笑）。

特別参拝仮設待合所にある受付で初穂料を支払い、紙の小忌衣を首から掛け、幣帛を持ち特別参拝ヘスタートです。

神職の方の案内で「外拜殿」の下手にある通路より中に入って「内拜殿」の真正面へ移動、そこから拝所へと真っ直ぐ続く石畳の参道を前へと前へと進みます。もうこの辺りから空気が全く違って、外との音さえも聞こえない不思議な体験をしました。

「内拜殿」の奥には皇室の方々が礼拝する「幣殿」あり、そのまた奥に「本殿」があります。ここから「本殿」は見えませんでした（残念です）、でも「内拜殿」の広い空間からは「幣殿」の屋根の上に付く「千木」が確認できます。 「内拜殿」で幣帛を捧げ礼拝を終えると、神職の方が撮影が許される場所に案内してくれます、くれぐれも勝手に撮影はダメですよ。



撮影OKのポイントからの「内拜殿」、その後ろに「畝傍山」。



大工町筋に面した「農家のオーベルジュこもれび」の外観です。



お座敷席、ここに座って食事したかった～



花籠ランチです、これにご飯とお汁が付いてきます～

この「こもれび」さんは、築百年以上の町家を改築し二〇一九年にオープンしたオーベルジュ。一日一組の宿泊とランチ・ディナー（要予約）の営業をしています（ランチの場合も予約がオススメ）。

本日、私たちが予約したランチは一番の人気メニュー「花籠ランチ（税別千円）」。花籠の中に所狭しと並んでいる一品料理！メインはハンバーグに見えるけど、どちらかというと野菜たちがメインなのです。野菜はほぼ地元の大和野菜、もちろんお米も奈良県産「ヒノヒカリ」！野菜の味がとても濃く甘味があつてとても美味しいお野菜です。花籠ランチの内容は時期によって変わるので、季節感も感じられます。古民家の落ち着いた空気感の中でゆっくりしていたら、三時前になつていた、慌ててお会計と時間変更のお礼を伝え散策ヘスタート。

今も昔も変わらない町並み、今井町散策を楽しむが・・・

「農家のオーベルジュこもれび」を後にして南へ、今井町散策のため御堂筋（大阪の御堂筋じゃないですよ・笑）にある「夢ら咲長屋（観光案内所）」向かいます。そこで町並み散歩の地図をいただき散策スタートです。「夢ら咲長屋」は案内所だけでなく休憩所（トイレもあります）にもなっています、これからは暑くなるので熱中症を予防するため、散策の途中にここで休憩を取ってください。ここで今井町の説明を、今井町は戦国時代に寺内町（中世後期から近世にかけて、主に浄土真宗の寺院の周囲に造られた宗教的な自治都市）として都市計画して作られた町で、江戸時代には商業都市としても栄え、「海の堺」「陸の今井」と呼ばれていたそうです。

この「文華殿」は「柳本藩陣屋（家格は城主格大名）」の一部（大書院、玄關）が奈良県天理市柳本町より移築されたものです。一時期、一八七七年（明治十年）から柳本小学校の校舎として使用されていましたが、校舎の改築計画に伴い撤去されたのです。そして一九六四年（昭和三十九年）に榎原神宮へ奉納され復原保存のち、晴れて一九六七年（昭和四二年）に国の重要文化財に指定されました。その後も老朽化が進み、二〇二〇年（令和二年）より奈良県に委託し文華殿保存修理工事がスタートしたようです。その保存修理工事が今年三月に竣工したことを記念して「文華殿特別公開」を開催しています。



重要文化財「文華殿」の玄關



「上・中・下段の三段構成の謁見の間」極彩色の丸彫り欄間が美しい

「文華殿」内では、一部屋ごとに「江戸時代どのように使われていたか」を神職の方が丁寧に説明してくれます。部屋ごとに異なる格付けや（身分・役柄により入れる部屋が決まっています）、小さいながらも「江戸城本丸御殿」を真似て造られたとされている「上・中・下段の三段構成の謁見の間」。この「謁見の間」は、現存する唯一のものであり非常に貴重な文化資料なのです。また、保存修理工事が難航したことなどや、今後の保存のための活用方法などを語ってくれたのです。神事だけでなくツアーガイドの役目もするんだと感心しながら、このご時世だから神職の方も大変なのですね（笑）。ありがとうございました！



百舌鳥・古市古墳群 勝手に世界遺産登録記念

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」

天皇御陵踏破の旅

外伝 魔太子編

写真取材 赤木

五十路もなかばの頃、ふと考えた。
日本国とは何なのか、日本人とは何なのか
その答えを探す為に、2600年を遡る時空の旅へ出た
イデオロギーなど関係無い、ただ、
今そこに残る時間の集積を写してみたい

「今西家住宅」から本町筋を東へ向かうと、「今井つどい館」もより」という民芸品などを展示している休憩所がありました。元は酒蔵だった建物を休憩スペースにリノベーション、ここにもお手洗があります。今井町つてホスピタリティ抜群ですね。
そのまま進んでいけば町屋の室内が見学できる「今井まちや館」（無料）があります。建築は江戸中期、長らく空家だったので痛み



「今西家住宅」から本町筋を東へ

その先には環濠（ため池）？ 地区内西端に一六五〇年（慶安二年）に建てられた「今西家住宅」があります。ここは今井町の「惣年寄（町政をまとめた人）」の筆頭をつとめた方の家で、民家には珍しい構造で別名「八つ棟造り（棟と棟が連結していて、上から見た形が「工」の字状に見える構造、神社建築の様式のひとつ）」とよばれているのです。この入館見学には事前予約が必要みたいです、行かれる方は注意ですね。

東約六〇〇m、南北約三二〇mの地区内には、現在も江戸時代のままの建造物が軒を連ね、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されているのです。あまり時間がないので駆け足で散策のスタートです。

先ほどの「夢ら咲長屋」で頂いた、散策マップを片手に歩き出す。文化財に出くわします。「夢ら咲長屋」の並びにある「豊田家住宅」、ここは二六六二年（寛文二年）江戸時代初期の建築で、幕末には藩の蔵元をつとめていた豪商だそう。もう少し西に進めば、豊田家歴代当主が収集したお宝を展示している「紙半豊田記念館」もあります、入館無料ですよ（今回はスルーです）。



御堂前川沿いにある観光案内所・休憩所の「夢ら咲長屋」

激しかった建物を、復元修理して一般公開しています。屋内には当時の生活の様子に分かる家財道具を展示していて、ハシゴで天井裏部屋へも行けます。今井町にある大型町家を体感できる施設です。「今井まちや館」を出て向かいには「小林豆腐店」、ここに豆腐の自動販売機があり驚いた！ 人生で初めて見ましたよ、買ったかっただけ帰るのに時間がかかるので、なま物だから泣く泣く諦めました（写真も撮り忘れてしまっ……涙）。

その隣の、ゆるい手描きの鬼の看板が笑いを誘います。一体ここは薬局？ 薬の会社？ よく見れば「端井薬品工業」と看板が上がっています。一九〇五年創業の伝統薬の風邪薬「おにのみ」を製造する老舗薬局さんでした。今はクラフトコーラ「おにのみコーラ」が有名らしいです。お土産に良いかもしれないが、鬼が店の前にいて、なんだか入りづらいのすよ……（笑）。鬼を後に、次の重文に向かうため一本西側の中町筋に向かいました。

中町筋の「旧米谷家住宅」に到着。この建物がいつ建つたのかハッキリしないみたいです、推定で「一八世紀中頃（江戸中期）」と伝わっています。屋号を「米忠」といい、金具商を営んでいた。ここも無料で室内見学ができます。裏庭には数寄屋風の蔵前座敷が建っていてなかなかの見応えがあります。



中町筋の「旧米谷家住宅」。平家通りで見た目が一番好きです。

そして隣には「今井景観支援センター」があります。「支援センター」と聞けば新しい建物を想像しそうですが、ここもなかなか古く一八五六年（安政三年）の建築物です。ここは「今井町並保存整備事務所」でもあり、町並み景観の保存・整備・活用を行う「橿原市教育委員会」管轄の部署で歴史的建造物の修理・修景への補助を担っている所です。そう言うとなんだか堅そうな施設に感じますが、ここは今井町で撮影された映画・テレビドラマなども紹介されていて浸し見やすい施設です。もちろん内部の見学もできます。ちなみに、私が今井町を訪れるのが二度目で、初めて訪れたのが二五年ほど前のことでした。その時はロケハンで「縁側から中庭」が見える家を探しにきたのです。その時の今井町は今のよう美しい町並みではなく、所々に朽ち果てかけた住宅があったことを記憶



端井薬品工業のゆるキャラ「おにのみ」です。でもこの鬼には耳がないです。

この記事を書き上げた時に、ハッピーニュースが飛び込んできた。日本で初めて中央集権体制誕生を示す「宮殿跡・寺院跡・墳墓」一九件で構成される遺跡群「飛鳥・藤原の宮都」（奈良県橿原市、桜井市、明日香村）が、世界文化遺産に登録される見通しとなりました！ 正式には、七月一九日韓国・釜山で開催されるユネスコ世界遺産委員会で発表されるようです。奈良県、並びに橿原市、桜井市、明日香村のみならず、おめでとございます！

散策に夢中で、気がつけばそろそろ帰る時間が近づいていました。最後の訪問先は本日のメイン、中尊坊通りにある一七二三年（明和九年）創業の「河合酒造」さんへ。建物はもちろん重文の「河合家住宅」、主屋の建築年代は一八世紀後半頃とみられていて、外観の二階の白漆が美しい優れた意匠の建築物です。

なんと言っても酒蔵なので「利き酒（三種類・千円）」ができると聞いていたので、看板銘柄の「出世男」を楽しむに方向性。ところが……店舗前に白い貼り紙、「休業日」と味気なく書かれています。なぜなんだい？ GW中だぞ？ こんな日によりによって休みますか！ この旅の最後に、こんな間抜けな事になるなんて、どこで何を買ったのか、どこで何を食べたかすら……旅にはこのようなトラブルはつきものと、いつか笑える日がくるはずさ。

中町筋の佇まい。この日は比較的に観光客が少なく静かな印象です。



邦良親王（くによしんのう）墓

御名 邦良親王（くによしんのう）
生没年 正安二年（正中三年） 時代 鎌倉時代末期
統柄 九四代・後三条天皇（父） 陵形 方丘

所在地 邦良親王墓 京都府京都市左京区北白河追分町（北白河陵横）
最寄駅 京阪本線「出町柳」下車、約1.2km、徒歩約一五分

「邦良親王」は「九四代・後三条天皇」の第一皇子、早くから「大覚寺統（南朝）」の正嫡として期待され養育されていた。「邦良親王」九歳に、父帝「後三条天皇」が崩御する、本来ならば（鎌倉幕府の調停案である「大覚寺統（南朝）」、「持明院統（北朝）」より交互に皇位継承）次の「花園天皇（持明院統）」の皇太子に立つべきであるが、幼い親王を皇太子にする事に不安があり見送られた。代わりに「後三条天皇」の皇弟で叔父でもある「尊治親王（後の後醍醐天皇）」を皇太子に立てる事になった。

その十年後、「九五代・花園天皇（持明院統）」から「九六代・後醍醐天皇（大覚寺統）」に皇位が譲られ、「邦良親王」が立太子された。しかし、「持明院統（北朝）」と「大覚寺統（南朝）」の皇位継承争いのなか、邦良親王は七歳で薨御した。
御墓は父帝「後三条天皇」の「北白河陵」拝所横にある、墓形は方丘とされている。



①②「後二条天皇陵（北白河陵）」拝所の左手側に墓がある。

某王（もといおう）墓

御名 某王・基皇子（もといおう・もといのみこ）
生没年 神龟四年（神龟五年） 時代 奈良時代
統柄 四五代・聖武天皇（父） 陵形 方墳

所在地 那富山墓 奈良県奈良市法蓮町字大黒ケ芝
最寄駅 近鉄・JR「奈良」より奈良交通バスに乗り「法蓮佐保山三丁目」下車、約300m、徒歩約四分

「某王」は「四五代・聖武天皇」の第一皇子として七二年（神龟四年）に生まれ翌年に薨御した廃太子。

生後まもなく一ヶ月ほどで立太子、当時では異例のことであった（天皇また皇太子は成人であることが求められていた）。このことは、異を唱えられる力のある皇族（皇位継承できる）がいなかったことが理由とされている。また一方で「聖武天皇」の外戚が「藤原氏」であったことで、天皇としての正統性が弱いことを不安に思い磐石化を図るため異例の立太子とも言われている。翌年、皇子の薨御に心を痛める「聖武天皇」は、皇子の死の原因が「長屋王」の呪詛であると思ひ込み、後の「長屋王の変」へと向かうことになる。

その陵墓は、奈良県奈良市法蓮町字大黒ケ芝に所在する「那富山墓」に治定され、墓形は方墳とされている。現在は柵により拝所に近づくことができない。



①②「法蓮佐保山三丁目」バス停の脇道に「那富山墓」の石標が建つ。



③少し登ってみたら横から眺められるポイントを発見した。この後、陵墓の周りを一周するも拝所へ行ける道はなかった。



③墓の中央あたりには紫陽花が咲いている、自生したのか宮内庁が植えたのかわからない・・・。

一肴

ITIGOU HITONA

酒は日本酒、四季など関係なく爛酒一筋。
真夏に汗かき呑むる爛、真冬に心を解かす熱燗を。
一献一合、酒場の隅で旅路を思う、一合一肴の旅に出る。
暖簾をくぐり席に着く、今日の品書き何だろう、
それが本日の目的地。

酒のムラタ屋



盆栽酒房七条



酒 / 奥の松 あだたら吟醸 (福島県)
肴 / いか 三升漬 徳造丸

一五三 献目

奥の松酒造
奥の松 あだたら吟醸
原料米 国産米 精米歩合 六〇%
日本酒度 +四 酸度 一、三
アルコール分 一五%
産地 福島県二本松市長命



本日は宅呑みで抜群のコストパフォーマンスのお酒で一献！ その
お酒は、醸造アルコール入りで「純米酒」じゃないけど旨酒だったの
で紹介します！ それは、福島県「奥の松酒造」さんが醸す「奥の松
あだたら吟醸」です。「あだたら吟醸」って何なのかな？ 不思議に
思い調べてみると、酒蔵のある二本松の名山「安達太良山（あだたら
やま）」、その水輪四〇年とも言われている伏流水を使い醸造される
ことから名付けられたみたいですね。その風味は！ とにかく滑らか
な喉越しで、バランスの取れた味と香り、千円前半の価格とは思えな
いお酒です。さらに調べれば、IWC2018で世界No.1に輝いた実績
を持っていました。醸造アルコール入りなのに「ひとクラス上」のお
いしさを造る「奥の松酒造」さん凄いです！

あわす肴 いか三升漬 徳造丸
本日のお酒に合わせるのは、伊豆の網元料理店「徳造丸」
さんが製造販売している「いか三升漬」です。「一見すると
「塩辛」に見えるのですが、違うのですよ！ まず塩辛に
絶対必要な「ワタ」や「ゲソ」は使用していません。だか
ら癖が全くないのです。塩分も控えめで、ほんの少しの辛
味のパンチ！ 日本酒の風味を邪魔しない奥ゆかしさのあ
る珍味です。ベースは醤油、その中に米こうじのやさしい
甘み、三升漬らしい唐辛子のピリツと感が加わり、ご飯の
友にもお酒の肴にも最高の珍味です！

酒 / 東洋美人 純米吟醸 大辛口 (山口県)
肴 / シビ (コシナガ) マグロ刺身

一五三 献目

澄川酒造場
東洋美人 純米吟醸 大辛口
原料米 山口県産 山田錦 精米歩合 五五%
日本酒度 +一五 酸度 一、五 アルコール分 二六%
産地 山口県萩市大字中小川



酒 / 杉錦 菩提配純米 誉富士 (静岡県)
肴 / 豚肉となると金時の赤だし

一五四 献目

杉井酒造
杉錦 菩提配純米 誉富士
原料米 静岡県産 令和誉富士
精米歩合 七〇% 日本酒度 +五
酸度 不明 アルコール分 一三、一四%
産地 静岡県藤枝市小石川町



本日は酒のムラタ屋さんにて山口県「澄川酒造場」さんの銘柄で一献です。一九二二年（大正一〇年）、米問屋の澄川家が親戚筋の酒蔵を引き受けたのが始まり。その時の当主が、亡き妻を思つて名付けたのが「東洋美人」！ だからこの酒蔵では、銘柄「東洋美人」だけで勝負しているのです（愛を感じますね！）そのお味は？ ラベルにも「大辛口」と謳っているけど、口に含むと、ほんのり優しい甘みか広がる？「これ、本当に辛口なのかな」と感じてしまうほどです。疑問を抱いていると、後口に突如！「キリッ」としたドライ感がやってきました！「シャープな後口が飲み飽きさせない」、「ツンデレ」の逆「デレツン」的な美人をお酒ですね。

あわす肴 シビマグロ刺身 一一〇〇円

山口・秋の美人なお酒に合う肴は、山口県でも水揚げされている高級魚「シビ（コシナガ）マグロ」のお刺身（皮目炙り）をいただきます。この「シビ（コシナガ）マグロ」は二m未満の小型マグロで、適度な脂が乗って上品な旨味があるマグロです。特に赤身部分が美味しく、モチモチ食感が良いです。普通に刺身で食べても美味しい魚だけれど、そこにひと手間、皮目に焼きを入れる事で旨さが増量です！「デレツン」な美人なお酒で脂をさっぱり、上品な旨味があるお酒と肴でした。

あわす肴 豚肉となると金時の赤だし 七八〇円

本日は酒のムラタ屋さんにて、いにしえの「菩提配造り」をいただきます。「杉井酒造」さんの創業は江戸時代天保九年、創業当時から室町時代に始まった日本最古の清酒醸造方法「菩提配造り」を継承しています。現在、この醸造方法で醸造している酒蔵は、全国で十数蔵のみと言われています。「菩提配造り」で醸造されたお酒は、癖が出やすい一面があるのだけれど「穏やかな旨味」「角のない酸」が特徴のお酒が生まれるのです。「杉井」を一口含めば、「旨い」とため息が出るように、この一言が口をつく。まろやかで旨みもあり、なんと言っても自然な感じの酸味が特に良い。アルコール度数が一三度台なのに、しっかりと呑みこたえもある！調和の取れた自然派な旨酒です。絶対、ぬる爛がおすすです。

あわす肴 豚肉となると金時の赤だし 七八〇円
そんな、いにしえの醸造のお酒に合う肴は、こちらでも古くからの製造方法で造られた八丁味噌をベースにした「赤だし」。もちろんムラタ風なので、どこに箸を入れても具材にふつかる「酒の肴汁」です（笑）。具材は、ほこほこ甘い大ぶりの「なると金時」、脂の少ない「豚肉」、そして油抜きをした「薄揚げ」と油分の取りすぎを気にかけてくれているのもありがたい。「穏やかな旨味」の「杉井」に、優しい甘味の「なると金時」がよく合う。今宵も良いお酒と出会えた、感謝。





酒 / 万齢生もと 特別純米 八百万 (佐賀県)
肴 / おまかせアテ三種

一五七 献目

小松酒造
万齢生もと 特別純米
八百万
原料米 山田錦・西海・雄町
精米歩合 五五%
日本酒度 十五 酸度 不明
アルコール分 一五%
産地 佐賀県唐津市相知町千束

佐賀県
唐津市



本日酒のムラタ屋・大将がサービスで出してくれた「どぶろく」です。それは、山形県の「酒田醃酵」さんの「黒どぶ みちのく山形 鳥海山伏流水」。この蔵元は、なんと「どぶろく」だけを醸造している珍しい蔵元なのです。その歴史は意外にも浅く、二〇〇七年からの製造のようです。なのに「日本酒の原点」である発酵のみで勝負するなんて（笑）。とにかく「どぶろく」は、「米・米麹・水」そのものが生きているお酒です。そのお味は、濃醇甘口！口に含むと、お米の旨味がバツとふくらむ、麹の柔らかな香りが鼻をくすぐる。そして醃酵のほのかな刺激が広がる、それなのに優しく感じる、不思議な「どぶろく」です。この「黒どぶ」で「どぶろく」のイメージが変わった記念すべき青春の一献です。

あわす肴 ホタルイカとuringの酢味噌

七八〇円

あわす肴は、「どぶろく」の甘さに対抗する、少し苦味のある「uring」と旬の「ホタルイカ」、口内をサッパリしてくれる「酢味噌」。「黒どぶ」の甘さ、次には「uring」の苦味、また「黒どぶ」、コクの旨味の「ホタルイカ」、「酢味噌」をひと舐め。甘さ、苦味、甘さ、コク、サッパリ、甘さ・・・至福の味変が続いていく。このコンビネーションはクセになりそうな、初物づくしの酒宴だ。

酒 / 黒どぶ みちのく山形 鳥海山伏流水 (山形県)
肴 / ホタルイカとuringの酢味噌

一五五 献目

酒田醃酵
黒どぶ みちのく山形 鳥海山伏流水
原料米 山形県酒造好適米
精米歩合 非公開 日本酒度 不明
酸度 不明 アルコール分 一二%
産地 山形県酒田市新橋

山形県
酒田市



「万齢生もと」を邪魔せず楽しむために、合わす肴は「おまかせアテ三種」にしました。親方（店主）の気分で毎回変わる三種のアテ、本日は「ホタルイカ沖漬け」「いかの塩辛」「本作り」の数の子カラシマヨです。どれもお酒がメインになるラインナップ、ちびりちびりと揃っては「万齢生もと」を口に含む。カウンターに飾られた「取り木（とりぎ）」の盆栽を眺め、緩やかな昼酒の時間を楽しみました。

あわす肴 おまかせアテ三種 九〇〇円

そんな紆余曲折があった酒蔵の「万齢生もと 特別純米 八百万」は、二〇一一年に三種類の原料米で仕込み四年間熟成させた旨酒！落ち着いた熟成香が鼻をくすぐる、ほどよい酸がやさしい口当たりを感じる。生もと造り三作目とは思えない出来です！米の旨味もしっかりある生もと旨酒ですよ。絶対にこのお酒の真骨頂を感じるには「ぬる燗」だ！早く、このお店で燗酒を呑みたい。お願いします親方（笑）！

引続き、七条通りにある「盆栽酒房七条」さんで盆栽を眺め乙に一献！いただくお酒は、佐賀県唐津市の内陸部に蔵を持つ「小松酒造」さんの生もと造り三作目で四年熟成の「万齢生もと 特別純米 八百万」です。この酒蔵は創業江戸末期、先の大戦時に海軍御用達酒（清酒）となり佐世保港より南方の前線基地まで運ばれていた歴史があるそうです。その後、時代の変化で清酒の消費量は縮小をたどり、平成二年に日本酒の醸造を止める状況になったのです・・・平成七年春、廃業間近の酒蔵に現代表「小松大祐」さんが脱サラをし東京より帰郷、酒造造りを一から勉強の上、平成一〇年に日本酒の醸造を復活させてのです（情熱ですね！）

堺観光で世界遺産・百舌鳥古市古墳群「仁徳天皇陵」にきたら
オススメの「盆栽酒房七条」さん。盆栽を眺め、乙な昼呑み旅の思い出に最適なお店です～！



SNSで見つけた趣向ある酒場で昼呑み。場所は大阪府堺市の仁徳天皇陵の西側（約150m）、七条通りにある「盆栽酒房七条」さんです。その名通り盆栽を眺めながら呑めるお店なのです。入店そうそう「面白いお店だなあ」と思い、店主の吉川さんに話を聞いてみた。元々は会社を経営する若き起業家だった、ある時、盆栽に興味を持ち職人への道を志したそうです。会社経営や家族もいるので、がっつり職人への弟子入りは出来ず、創意工夫の修行を積んで、今では人気の盆栽職人になられたのです。そして、奥方の実家（七条で）が酒屋さん（閉店中）だったこともあり、その隣で「盆栽酒房」をオープンしたのです。



あわす肴

和歌山県産 ケンケンかつおたたき

九〇〇円

明日から本業の盆栽業で、お店をしほらく休むと聞いたので「それならば」足の早いナマ物を頂くことにした。あわす肴は、魚の中でも旨味の宝庫「かつおたたき」だ！それも「ケンケン漁」の！釣り上げるとすぐに活け締め（血抜き処理）された「かつおたたき」、鮮度が抜群でモチモチとした食感がたまらない。旨味・キレの良いお酒と旨い肴、盆栽を愛でる昼酒は至福の時間だ。この酒場は明るい時がオススメです、中庭には盆栽がたくさん飾られています。昼呑みの罪悪感も薄れていきますよ（笑）。

「盆栽酒房七条」さんで頂くお酒は！吉川さんオススメ、滋賀県「福井弥平商店」さんの「萩乃露 特別純米 超辛口 赤ラベル」です。でも、残念なことに「燗器」準備中のため冷で頂くことになりました。「福井弥平商店」さんは、江戸時代中期から約二七〇年間、琵琶湖の近くでお酒を造り続けている老舗酒蔵です。その「萩乃露 特別純米 超辛口」といえば、香りは、華やかすぎず穏やかな香りが良く、口に含めば、やわらかな当たりが呑み疲れしない感じですね。かと言って淡泊じゃなく、しっかりとした米の旨味がありますよ。最後には抜群のキレで五臓六腑に落ちていく、うまうまの辛口銘酒です。これだけバランスのいいお酒、燗で呑みたかったな・・・。

萩乃露 特別純米 超辛口 赤ラベル (滋賀県)
肴 / 和歌山県産 ケンケンかつおたたき

一五六 献目

福井弥平商店
萩乃露 特別純米 超辛口 赤ラベル
原料米 吟吹雪 精米歩合 六〇%
日本酒度 十二 酸度 一、六 アルコール分 一六%
産地 滋賀県高島市勝野

滋賀県
高島市



ソノひびヨリ

次号予告

(2026年7月~9月)

連載 ソノひびヨリ

第四六話 兵庫県姫路市

オーバーツーリズム！姫路城



昭和ガラクタノスタルジー
「家のじゃまけモノ」

キーホルダー編 ソノシート編 その他



還暦前、写真家の「写して候・寄って候」

天皇御陵踏破の旅 外伝編・廃太子



特集

mofmof 推し歩き

プチモフ動物探訪行ってみたZOOへ
名古屋市 東山動植物園

御朱印・歴史人物
数珠繋ぎの旅 (仮)

聖徳太子編

※記事内容は一部変更になる可能性があります。

編集後記

今年もいつの間にか半分が過ぎた、歳を取る
と季節の流れが早く感じる。この三ヶ月を振り
返れば、泥沼化したアメリカとイランの戦争
で原油は高騰、そのため石油を原材料にする物
が全て値上がりしました。生活必需品だけでなく旅行にも大打撃です。
先日見た新聞のツアー広告「スペイン三都市の
旅」が旅行代金約六万四千円と掲載されていた
。こりゃ、今どき安いなどと感じ内容を精査す
ると現地観光は三日間で、残り三日移動（飛行
機での往路復路）の六日間でした。その上、燃
料サーチャージ二万一千円（目安）、SAF
利用料（航空券代に数千円〜一万円程度）、海
外空港施設使用料（片道二千〜三千円前後）、国内
空港施設使用料（片道二千〜三千円前後）、国内
旅客税を併せて約七千円です。旅行代金を合
わせて約三万五千円、現在と十数万円の差です。
何だか切なくなってきました（苦笑）。
明るい話題は無いのかと探していれば、あり
ました「飛鳥・藤原の宮都」が国際記念物遺跡
会議（イコモス）が登録を勧告したニュース。
即ち世界遺産に認定登録されること事実に決
定されました。奈良県橿原市、桜井市、明日香
村の皆さま、世界文化遺産登録おめでとうござ
います！ 今後もちよくちよく取材に行きます
その時はよろしくお願いたします。
それでは次号の予告を、次号紹介する旅行記
は、大阪府泉南郡岬町の深日港から兵庫県淡路
島洲本をつなぐ高速船の旅（予定）、天皇御
陵全踏破の旅は今号からスタートした「外伝
・廃太子編」を引き続きお届け。『日本酒紀行
・一合一肴』、『家のじゃまけモノ』は当然掲
載です。そして！ 新企画の『御朱印旅（仮）
』がいよいよスタート（笑）、それに、久しぶりの
の「やまなかタヌキ」さん、動物探訪が復
活です。次号もよろしくどうぞ！

編集部一同



本日は昼酒呑みで一献。怠惰な時間を過ごしていたら、なんと大阪居酒屋の名店「明治屋」の樽酒が頭に浮かび「呑みたい！」と。こうなると気持ちを抑えることができなくなる、困ったものだ（笑）。たけど「明治屋」に行くのは面倒臭い、なので近くの酒屋に走ることにしました。ありました！ 奈良県吉野の「北岡本店」さんの「八咫鳥 純米酒 たる樽」が。この酒蔵は吉野熊野国立公園の入口付近にあり、明治元年（一八六八年）に創業しています。その酒蔵の看板酒「八咫鳥 純米酒 たる樽」の風味は、吉野杉の杉樽に肌添えしたスギの香り（「肌添え・はだそえ」とは、日本酒を杉樽などに一定期間貯蔵・熟成させ、木の香りを移す工程）まるくで森林浴をしている気分になる、口に含めば柔らかい口当たり、後口はすっきりとしたやや辛口のお酒です。より香りが際立つ、ぬる燗が絶対おすすめです！

あわす肴 タケノコの木の芽和え

お酒は手に入れた、あとは肴を何にするか。冷蔵庫に今年最後の筍がある、香りのいい樽酒には香りで対抗する肴にしよう。またまたスーパードに走り、木の芽を買いに行くが、バックしかなかった。残念だけれどこれで我慢することにする。レシピは簡単。春の終わりに香り良い吉野の樽酒、筍の苦味に甘い白味噌の風味、新緑を感じさせる木の芽の香りが、過ぎゆく季節を欲しむ様にちびりちびりと一献を楽しむ昼酒だった。



酒 / 八咫鳥 純米酒 たる樽 (奈良県)
肴 / タケノコの木の芽和え

一五八
献日

北岡本店
八咫鳥 純米酒 たる樽
原料米 国産米 精米歩合 六八%
日本酒度 +14 酸度 一、四 アルコール分 一四%
産地 奈良県吉野郡吉野町上市

奈良県
吉野郡



酒 / 香住鶴 生酛 からくち (兵庫県)
肴 / 生あおさのりの味噌汁

一五九
献日

香住鶴株式会社
香住鶴 生酛 からくち
原料米 国産米 (兵庫県産)
精米歩合 六八% 日本酒度 +17
酸度 一、三 アルコール分 一五%
産地 兵庫県美方郡香美町香住区小原

兵庫県
美方郡

